

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 9 月 3 日 (2020.9.3)

【公開番号】特開 2020-32222 (P2020-32222A)
 【公開日】令和 2 年 3 月 5 日 (2020.3.5)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-009
 【出願番号】特願 2019-200821 (P2019-200821)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 7 月 13 日 (2020.7.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が流下可能な遊技領域が形成される遊技盤を備えた遊技機であって、
前記遊技盤が取り付けられる本体枠と、該本体枠の前面側をに設けられる扉枠とを有し
て構成される遊技枠部と、
前記遊技枠部のうち前記遊技盤よりも下方に設けられ、遊技者が操作可能な特定操作部
と、

遊技者によって前記特定操作部が操作されることで、遊技ホールの係員を呼び出すこと
が可能な呼出動作を実行する呼出動作実行手段と、

前記特定操作部の操作により遊技ホールの係員を呼び出すことが可能であることを遊技
者に知らせる呼出通知表示を行う呼出通知表示実行手段と、

を備え、

前記呼出通知表示を行うことによって、外部機器ではなく当該遊技機に設けられる前記
特定操作部の操作により遊技ホールの係員を呼び出すことが可能であることを遊技者に認
識させる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

しかしながら、特許文献 1 に記載のような遊技機構成では利便性の更なる向上を図るこ
とが困難であった。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、従来に比して利便性を向上させる遊技機を提供することにある。

【 手 続 補 正 4 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 6

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 6 】

本発明は、
遊技球が流下可能な遊技領域が形成される遊技盤を備えた遊技機であって、
前記遊技盤が取り付けられる本体枠と、該本体枠の前面側をに設けられる扉枠とを有して構成される遊技枠部と、
前記遊技枠部のうち前記遊技盤よりも下方に設けられ、遊技者が操作可能な特定操作部と、
遊技者によって前記特定操作部が操作されることで、遊技ホールの係員を呼び出すことが可能な呼出動作を実行する呼出動作実行手段と、
前記特定操作部の操作により遊技ホールの係員を呼び出すことが可能であることを遊技者に知らせる呼出通知表示を行う呼出通知表示実行手段と、
を備え、
前記呼出通知表示を行うことによって、外部機器ではなく当該遊技機に設けられる前記特定操作部の操作により遊技ホールの係員を呼び出すことが可能であることを遊技者に認識させる
ことを特徴とする。

【 手 続 補 正 5 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 1 3

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 1 3 】

本発明によれば、従来に比して利便性を向上させることができる。